

## 日本アメリカ史学会第7回（通算35回）年次大会プログラム

9 月 18 日 (土)	12:00～13:00	幹事会 24101
	13:00～	受付開始 1階エントランスホール
	14:00～ 17:00	<b>シンポジウムA 「越境する音楽」</b> 24202  報告： 塩谷達也（ゴスペル歌手） 「日本におけるゴスペルの受容」 鳥居祐介（摂南大学） 「ジャズと国境—ある日系カナダ人ミュージシャンの事例から—」 細川周平（国際日本文化研究センター） 「田舎を表象する—合衆国のカントリー音楽とブラジルのセルタネージャ音楽—」  コメント： ウェルズ恵子（立命館大学） 司会： 油井大三郎（東京女子大学）
	17:15～ 18:15	総会 24202
	18:30～ 20:30	懇親会 72年館（同窓会）
9 月 19 日 (日)	10:00～12:00	自由論題 24201, 24301
	10:00 ～10:50	野村史織（中央大学） 「越境的な民族意識と市民概念の形成—合衆国のクロアチア民族協会を中心に—」
	11:00 ～11:50	富田晃正（東京大学・院） 「アメリカ通商政策における労働組合の存在感 —1997/98年Fast-Track承認問題と対中タイヤ・セーフガード発動措置を例に—」
		司会： 庄司啓一（城西大学）
	10:00 ～10:50	金澤宏明（明治大学・兼） 「アメリカの政治カートゥーンに表象されたハワイ併合問題」
	11:00 ～11:50	細谷典子（法政大学・非） 「南部リベラルと『人種』」
		司会： 兼子歩（長野県短期大学）
	14:00～ 17:00	<b>シンポジウムB 「せめぎ合う〈都市空間〉」</b> 24202  報告： 松原宏之（横浜国立大学） 「ソーシャルワークの地政学—世紀転換期ニューヨーク・シカゴの事例から—」 和泉真澄（同志社大学） 「アジールとしてのエスニック宗教空間—ロサンゼルス洗心寺における文化アクティビズム—」 中村寛（多摩美術大学） 「〈境界〉をめぐる民族誌的素描—ハーレム・コミュニティとコロンビア大学のキャンパス拡大—」  コメント： 谷中寿子（共立女子大学） 司会： 村田勝幸（北海道大学）
	14:00～ 17:00	<b>シンポジウムC 「核の諸相」</b> 24301  報告： 日野川静枝（拓殖大学） 「サイクロトロンと原爆開発」 中村雅子（ミネソタ大学・院） 「日米のミス原爆と冷戦文化」 上村直樹（広島市立大学） 「同盟と核軍縮のジレンマ—オバマ政権登場の意味」  コメント： 西崎文子（成蹊大学） 司会： 中條献（桜美林大学）